



主催：一般社団法人 関西建築構造設計事務所協会
 後援：一般社団法人 日本建築構造設計事務所協会連合会（FASA）
 後援：一般社団法人 日本建築学会 近畿支部
 後援：一般社団法人 日本建築構造技術者協会（JSCA）関西支部
 後援：公益社団法人 大阪府建築士会

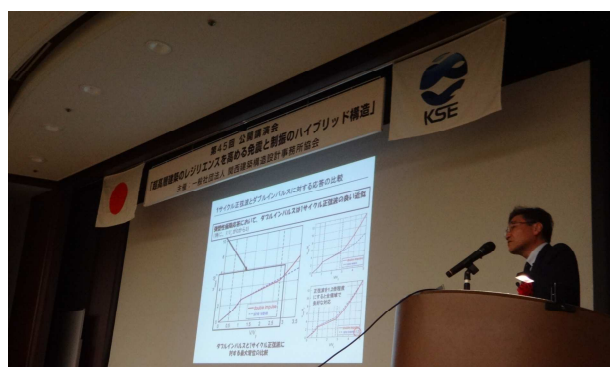
第45回 公開講演会報告

報告日 2019年10月30日

会 長 西 邦 弘

技術委員会委員長 横田 友行

第45回公開講演会が、2019年10月24日に大阪市内建設交流会館8階グリーンホールにて開催されました。多数の参加者が集まる中、西会長の主催者挨拶から始まり、講演会は「超高層建築物のレジリエンスを高める免振と制振のハイブリッド構造」という題目について、日本建築学会会長・京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授 竹脇 出 先生にご講演頂きました。



講演は2部に分かれ、第1部に「耐震構造の黎明期と超高層建物の夜明け及び非線形共振」という題目でお話がありました。速度・ポテンシャルエネルギー理論、地震動のインパルスへのモデル化、昨今問題視されている長周期地震動、震度7地震の連続発生に対する対策等についてご講演頂きました。

第2部では「免振と連結制振のハイブリッド構造」という題目でお話がありました。模擬パルスによる構造物応答のアニメーション紹介や大手ゼネコンが手掛けたハイブリッド構造物の実例紹介等を踏まえたお話がありました。また、社会的に関心が高まっている、建物の「レジリエンス」と「BCP」についてもお話を頂きました。設計者にとって大変有意義な講演となりました。



講演後の質疑応答も実のある議論が行われました。ご参加頂きました皆様にとって有益な講演であったことを切に願います。また、会員の皆様のご協力を得て円滑に開催することができました事、改めて感謝申し上げます。



対象者 建築構造関係者
 参加費 無料
 参加者 約150名